

# 令和元年度 事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

令和元年度は、公益目的支出計画として位置付けている実施事業等会計区分事業（緑化推進、緑化普及啓発等）計画の一層の執行を図ると共に、その他会計として区分している事業（岐阜公園、葉草園、収益事業）についても着実な執行を図ることを念頭に事業を進めた。

以下、事業概要を報告する。

## 1 実施事業等会計

### (1) 実施事業等（公益目的）緑化推進事業

#### ① 緑化推進事業

##### ア 花飾り講習会の開催

市民を対象に年5回（13日間）開催を計画し、体験教室を通して花の栽培、生育に係る知識の普及を図る。

流行しているハーバリウムで、ボールペンを作成し、プレゼントできるようにした。各講習会とも応募者が多く盛況であった。

参加者に緑化推進として、機関誌、カレンダー(月別種子付き)、種子（水栽培ヒヤシンス・バジル等）及び、花と緑のガーデニングノート等を配付することにより、家庭での緑化推進に寄与した。

実施日及び参加者数 計 398人 (前年度 537人)

参加者内訳 5月21、22、23、24日

150人

9月19、20日 48人

11月26、27、28、29日

200人

※今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、第4回、5回を中止した。

##### イ 樹木医診断の実施

民有地緑化の主となる樹木の適正な維持管理をした。

市民からの依頼に基づき、樹木医を派遣し相談に応じた。

保存樹・保存樹林の定期健康診断を実施した。

診断件数 45件 1,404,000円

(前年度 45件 1,404,000円)

ウ 保存樹・保存樹林への対応

市内で指定された保存樹・保存樹林の適正な維持管理をした。

- ・保存樹等管理者講習会の開催

7月26日 南部コミュニティセンター 40人

(前年度42人)

「保存樹・保存樹林の健康管理について」と題して林講師（農林水産省指定樹木医）により講義を実施した。

メネデール（植物活性剤）、肥料及び育て方の本等を配付した。

- ・保存樹・保存樹林の補助金交付事業

登録数 保存樹 65件 保存樹林 20件

保存樹 56件 361,000円 (前年度 61件 395,000円)

保存樹林 20件 490,000円 (前年度 20件 490,000円)

※保存樹65件のうち9件については、管理者自体で管理できるため、補助金を辞退した。

② 緑化等普及啓発事業

ア わが家のシンボルツリー記念樹配付

配付本数 607本 1,078,000円 (前年度 605本 986,040円)

第1回 令和元年11月17日 293本

第2回 令和2年 3月 4日 314本

※第2回は、新型コロナウイルス感染予防対策のため延期とした。民有地緑化推進パンフレット、花と緑のある暮らし、みどりのまちだより及び緑化推進種子を配付した。

イ 各種の奨励補助金の交付

民有地緑化の普及を図るため各種の補助金を交付した。

- ・張芝奨励補助金交付 20件 595,000円

(前年度 36件 1,015,000円)

- ・生け垣づくり奨励補助金交付 5件 132,800円

(前年度 5件 136,500円)

大型店舗（7店舗）、住宅展示場、造園業者、建築関係業者に民有地緑化事業のパンフレットを設置した。

張芝奨励補助件数が減少した理由として、温暖化により、芝生の育成が悪く、購入ができなかったことも考えられる。

ウ 市民活動団体への活動支援

緑化等普及啓発に資するよう市民による関連活動の促進を図った。

- ・緑化団体支援

ふれあい花壇団体交流会を年2回（6日間）実施した。

南部、北部、西部コミュニティセンターで実施。参加者に緑化

推進として、種子（水栽培クロッカス、わすれな草、カンパニュラ）及び冊子「花と緑のガーデニングノート」等を配付した。

参加団体 241 団体

参加者数 522 人（前年度 570 人）

参加者内訳 6月4、5、6日 258 人（前年度 286 人）

10月18、24、25日 264 人（前年度 284 人）

春（ベコニア・メランポジューム）、秋（パンジー）の花苗を241団体に配付した。

・自然環境保全活動団体支援

岐阜市自然環境の保全に関する条例に基づいた団体に対し、財政的な支援として補助金を交付した。

9 団体 570,000 円（前年度 9 団体 570,000 円）

### ③ 緑化基金造成、管理

主催又は参加するイベント時に基金活動を行った。

基金活動を兼ねて以下のイベントに参加し、緑化啓発パンフレット、種子及び花の配布を行った。

ア 一般募金額 総計 180,423 円（前年度 206,826 円）

・ 第47回道三まつり（若宮町歩行者天国）H31.4.7

40,473 円（前年度 36,100 円）

・ フローラリー岐阜（長良公園）H31.4.29

22,100 円（前年度 37,414 円）

・ 第63回ぎふ信長まつり（若宮町歩行者天国）R1.10.6

35,500 円（前年度 32,300 円）

・ 第9回ふれあい緑化フェア R1.10.26

11,500 円（前年度 10,300 円）

・ シニアワークフェア R1.10.26

26,800 円（前年度 24,100 円）

・ 第1回岐阜市エコフェスタ R1.11.10

44,050 円（前年度 28,000 円）

・ 団体寄付金（岐阜市）1件

岐阜市役所28部所の職員から、球根（チューリップ）の配布に併せて緑化基金を募集した。

973 口 490,602 円（前年度 989 口 500,079 円）

イ 緑化基金現在高

前期末残高 300,959,001 円

当期増加高 671,025 円

当期末残高 301,630,026 円

(2) 実施事業等（継続） 梅林公園管理事業

市の業務仕様の着実な執行と共に、下記の事業を行った。

- ① 梅の木の診断を実施。エリアごとに分けて3年間で全体を実施している。

今年度337本実施内、2本枯れ伐採、44本に一部枝が枯れ衰退している樹木等があるため活根肥料として、バイオビリオン及びバーディーラーズの施肥を実施した。

- ② 剪定した梅の木をチップ化し、マルチ材として活用し、循環型社会の形成に寄与する事業を行った。（梅林公園で無料配布）

- ③ 梅の木紹介看板は、一部に公園整備課が、QRコードを添付した看板を設置、梅の説明をスマートフォンで見ることが可能になった。

- ④ 梅の開花時期に合わせて、梅だよりとして財団ホームページに週1回、計9回掲載した。

岐阜市のホームページにもリンクしており、利用者からは好評であった。

- ⑤ 岐阜県造園緑化協会岐阜支部の造園業者による梅の木の剪定が実施された。

- ⑥ 市民参画社会形成の一環として地元校区のアダプト・プログラム（梅林公園守る会、D51守る会）の皆さんへの清掃用具の貸し出し、園内の清掃・管理を協働で行った。

令和2年3月14日・15日に実施予定の梅林公園「第68回ぎふ梅まつり」は、新型コロナウイルス感染予防対策のため中止となった。

2 その他会計事業

(1) 他1 岐阜公園等管理事業

岐阜市との協働による公園維持管理業務（臨時職員及びアルバイト職員の計2名を派遣）、来園者駐車場（堤外駐車場、堤外第2駐車場、大宮町駐車場）及び華松軒（和室、茶室等）の管理業務並びに使用料収納業務事務を行い、公園来園者のサービス向上に努めた。

① 駐車場の利用状況

・堤外駐車場（収容台数 143台）

利用総数 96,416台（前年度 78,462台）

一日平均 264台（前年度 214台）

・堤外第2駐車場（収容台数 36台）

利用総数 26,631台（前年度 29,649台）

一日平均 73台（前年度 81台）

・大宮町駐車場

(収容台数	バス	18台	(普通車	13台)	、障がい者等	12台)
利用総数	バス	2,697台	(前年度	2,248台)		
	一日平均	7台	(前年度	6台)		
	自家用車	13,039台	(前年度	14,653台)		
	一日平均	35台	(前年度	40台)		

② 岐阜公園来園者環境整備状況

ア 来園者に対する誘導をスムーズにするための環境整備を行った。

- ・パンフレット「岐阜公園駐車場案内図」の作成
- ・ゲートバーに「止まれ」サインを取り付

イ 岐阜公園、岐阜城・金華山への来訪者に対する「おもてなしの心」の一環として、岐阜公園駐車場に花のプランターを設置した。

ウ 来園者無料休憩所南側にゴーヤによる「緑のカーテン」を設置し、緑化推進と休憩者に対し涼の提供を行った。

エ 華松軒の利用促進を図るため、新メニューの追加と信長の家紋をあしらった日よけ暖簾を設置した。

オ 来園者へのサービス向上として自販機を新たに設置した。

③ 日本の伝統文化「茶の湯」の体験と普及啓発のための市民茶会として「一期一会茶の湯」を開催し、40人（申込者41人）の参加が得られた。

(2) 他2 薬草園管理事業

① 岐阜薬科大学の指示・指導の下、薬草園の維持管理及び市民への薬草に関する正しい知識の普及に努めた。

② ボランティア勉強会を毎月第2水曜日に実施した。

③ 標本中央畑他8ブロックにおいて、栽培、除草、清掃、種子採取、収穫、植替え等を実施した。

④ 一般公開（毎週月、水、金、日曜日）

開園日数 163日 (前年度 183日)

見学者 964人 (前年度 1,322人)

⑤ オウレン特別公開は、豚コレラのため中止になった。

⑥ 園内の樹木に枯枝及び倒木が見られたため、伐採作業を実施した。

(3) 他3 自動販売機事業等収益事業

当財団の貴重な運営財源である収益事業の概要は、次のとおりである。

自動販売機事業	(設置数32台)	(前年度 29台)
収益額	4,526,108円	(前年度 4,174,477円)
立礼茶席事業	利用者数 9,214人	(前年度 7,859人)
収益額	3,988,900円	(前年度 3,037,480円)
総合計収益額	8,515,008円	(前年度 7,211,957円)